

館山市

# 会議所だより

会議所は企業の要、地域の灯

# 2012 4

会員数 993 名

●昭和 51 年 7 月 10 日 第 3 種郵便物認可 ●平成 24 年 4 月 10 日発行 (毎月 1 回 10 日発行) 第 532 号 ●発行所/館山商工会議所 ●編集発行責任者/専務理事 山本佳幸 ●〒 294-0047 千葉県館山市八幡 821 ●TEL.0470-22-8330 FAX.0470-23-4011 ●印刷所/株式会社 集賢舎 ●定価 1部 20 円 (購読料は会費に含まれています)



3月25日にグランドオープンした「渚の駅」たてやま!

## 第 97 回通常議員総会を開催 平成24年度予算・事業計画を承認

館山市の新しいシンボル  
「渚の駅、たてやま」がグランドオープン

LOBO 2 月結果  
業況は低迷、海外調達の加速で受注減

経済底流を読み解く  
日本経済の復活を目指して、今こそ底力を発揮する時

お手続きはお済ですか?  
原子力発電所の事故に伴う観光業の  
風評被害に係る賠償請求個別相談会を開催

千葉県よりお知らせ ちばレジエコメッセージを募集!

## 無担保、無保証人、低利子で融資

～マル経融資制度～  
利子補給 (1%) 制度が利用できます!

マル経融資制度は、小規模事業者の皆様の経営改善に必要な事業資金を館山商工会議所の推薦により「㈱日本政策金融公庫」から借りられる国の制度です。

担保、保証人	不 要
保証協会の保証	不 要
貸付限度額	1,500 万円
返済期間	10 年以内 (*運転資金は 7 年以内)
利 率	年 1.85% (平成 24 年 4 月 1 日現在)
融 資 対 象	小規模事業者: 従業員 20 人以下 (商業、サービス業は 5 人以下)

※ご利用の際には各種要件がございますのでお問い合わせください。☎ 22 - 8330

# 第97回通常議員総会開催 平成24年度当所予算は1億700万円

当所第97回通常議員総会が3月28日(水)商工会館で開かれ、平成24年度の事業計画や収支予算などの議案が慎重審議され、承認されました。新年度の事業計画の概観は以下のとおり。

昨年のわが国経済は、リーマンショックの影響から立ち直る途上のなかで、3月11日に発生した東日本大震災と原子力災害により、企業の生産活動や輸出落ち込み、個人消費の低迷により、実質GDPは2011年4～6月期まで3四半期連続の減少となった。更に、円高の長期化、原子力災害による電力不足懸念等から、企業が生産拠点の海外移転を加速させることによる、産業の空洞化を招く恐れも指摘された。当市を含む南房総地域は、震災の直接的な被害は被らなかつたものの、春の観光シーズン中の発災のため風評・二次被害により大きな経済的打撃を受けた。

このような状況下、当所は緊急相談窓口を設置し、行政機関・関係団体に対し地元事業者の実情を報告、金融支援策の弾力的な運用等を要望。また、東京電力に対し計画停電に起因する間接被害が拡大しないよう要望書を提出した他、市内金融機関との情報交換会を開催し、会員事業所の資金需要への迅速なる相談・対応を依頼した。更に、県による中小企業再建支援専門家チームによる相談会を開催した他、プレミアム商品券発行を行政に要望するとともに、本商品券の発行を支援した。

本年も国・県等の制度融資をはじめとする経済対策について会員事業所への周知、専門家による指導等の充実を図る。館山市の利子補給制度のついた「小規模事業者経営改善資金融資(マル経)制度」については、周知に努め会員事業所の資金調達需要に応えたい。人口減少や高齢社会の進展、後継者不足など館山市経済を取り巻く様々な課題が山積する中で、行政との連携をより強固にして、安全・安心なまちづくりや地域福祉の増進にも積極的に寄与していきたい。

重点事業としては、①館山駅周辺及び中心市街地活性化については、事業者サイドの意見の調査分析等を踏まえ、具体的な活性化策を検討。②会員増強を強力に実施するとともに、部会構成の見直しに取り組み、部会活動の活性化を図る。③進出企業と地域社会の共生を目指すための「(仮称)館山市産業振興条例」制定の促進。④商工会館について防衛施設周辺民生安定施設整備事業実施による整備を推進。⑤館山バイパスやJR快速電車を含む交通網の整備促進を図っていきたい。商工会議所活動の源泉は、すべて会員事業所の協力から生まれる。会員増強・共済事業推進により財政基盤を強化し、本年事業に取り組みでいきたい。実施事業計画は以下のとおり。

## 1. 地域開発の促進

- (1) 交通網整備促進、地域高規格道路館山・鴨川道路具体化促進、道路構造の検討
- (2) (仮称) 船形バイパスの具体化促進
- (3) 中心市街地活性化の促進、館山駅周辺ならびに幹線市道1001号線(市役所裏側道路)他幹線道路の改良
- (4) 特定地域振興重要港湾館山港の整備促進(小型栈橋設置)
- (5) 館山湾海岸環境整備事業(ビーチ利用促進モデル事業)の促進
- (6) 史跡、景観地の整備促進、景観条例制定の提案検討
- (7) 観光立市たてやま実現による経済活性化の促進

## 2. 総合的事業

- (1) 商工会議所財政基盤を一層強固にする為、会員増強(新会員獲得)ならびに会員口数増加の実施
- (2) 特定退職金制度、なのはな共済制度他、各種共済制度の普及を一層強力に推進
- (3) 「商工会館」の活用を高めるよう運営・管理の実施(平成24年度防衛施設周辺民生安定施設整備事業実施による会館整備)
- (4) 定時議員総会を年2回開催(平成24年5月、平成25年3月)を開催
- (5) 必要に応じ、随時に常議員会を開催(年5回以上)
- (6) 議員・役員等による議員懇談会を開催(新年懇親会を含め、年2回以上)

- (7) 会頭の諮問機関である総務・商業・工業・観光交通・金融税制・労務対策・会員親睦各委員会を開催し、商工会議所運営の助力を図る
- (8) 文化商業・日用品雑貨商業・食品商業・衣料品家具商業・農水産品商業・燃料商業・機械工業・建設関係食品加工业・交通運輸・観光サービス・衛生サービス・庶業の各部会構成を見直し、部会活動の活性化を図り、会員業者の繁栄はもとより、部会意見を商工会議所活動に反映するよう努力
- (9) 進出企業と地域社会の共生をめざし、「(仮称)館山市産業振興条例」制定を促進
- (10) 館山市商業まちづくり委員会①中心市街地活性化について、事業者サイドの意見の調査分析等を踏まえ、具体的に活性化策を検討
- (11) 館山商工会議所リゾート商工研究会
- ① 地域開発計画等の情報収集ならびに高速道路延伸の受け皿づくりについて研究し、地域振興を図るための調査研究、講演会、視察等の実施
- ② 館山夕日栈橋、「渚の駅」たてやまの有効活用に向けた情報収集と意見具申
- ③ 景観条例制定への研究



- (12) 商工会議所青年部育成とその事業推進
- (13) 商工会議所女性会育成とその事業推進
- (14) 地域・中小企業における地球温暖化対策の推進に協力
- (15) 行政庁（関東経済産業局、中小企業庁、千葉県、館山市等）との連携ならびに事業活動強化
- (16) 日本商工会議所、関東商工会議所連合会、千葉県商工会議所連合会等との連携と協力強化
- (17) 商工会議所活動を通じて、安心・安全なまちづくり、地域住民の福祉増進に寄与

**3. 商工業振興**

- (1) 中小企業相談所機能の強化を図り、他産業との交流会

- 異業種グループの指導育成
- (2) 必要に応じて時局経済講演会、文化講演会を開催
- (3) 館山市商店会連合会事業に協力
- (4) 館山市商業協同組合事業に協力
- (5) 個人情報保護法・PL法（製造物責任法）・容器包装リサイクル法に対する周知活動の実施
- (6) その他商工業振興に関する事業

**4. 商工会議所会員の親睦に関する事業**

- 本事業はその都度「親睦委員会」に諮り、必要に応じて会議所事業として実施（会員ゴルフ大会等）

**5. 福祉・労務対策**

- (1) 市内事業所優良商工従業員表彰（市と共催）を実施
- (2) 労働保険事務組合業務の取り扱い
- (3) 雇用促進事業の一環である財形貯蓄制度の周知活動及び事務代行の実施
- (4) その他、福祉・労務対策に関する事業

**6. 金融・税務対策**

- (1) 国・県・市の制度融資の周知徹底を図り、市内金融機関との連携強化をはかり金融斡旋指導を実施

- (2) 館山税務懇話会の活動に協力

**7. 観光事業振興対策**

- (1) 平成24年度「第49回館山観光まつり・館山湾花火大会」を主体的に運営
- (2) 「第31回南総里見まつり」「第33回館山若潮マラソン大会」等の行事に協力
- (3) 城山みやげ処（里見茶屋）・「渚の駅」たてやま（KIRA・たて山）による地場産品・地域情報発信の推進
- (4) 観光物産の紹介斡旋に商工会館他の物産展示、ホームページでのPRを強化
- (5) 特産品の開発、販路開拓に向けた運営体制づくりの推進
- (6) 「郷土みやげ祭り」の実施
- (7) その他、観光振興については行政、市観光協会、関係諸団体等と協力しその推進を一層強化

**8. 調査研究および広報活動**

- (1) 日本商工会議所のL O B O（早期景気観測）調査に協力（毎月1回調査）
- (2) 商工会議所会報「会議所だより」を毎月1回発行（年12回）
- (3) ホームページ維持管理と、その他調査研究および広報活動に関する事業

**9. 商工技術とその指導育成**

- (1) 日本商工会議所主催検定試験P C検定試験（1級〜3級）・キーボード操作技能検定試験（キータッチ2000テスト）・ビジネスキーボード）・簿記検定試験（年3回・1級〜4級）・珠算・暗算・段位検定試験（年3回・1級〜10級）・販売士検定試験（1級〜3級）の施行
- (2) 東京商工会議所主催検定試験：福祉住環境コーディネーター検定試験（年2回）・ビジネス実務法務検定試験（年2回）・環境社会検定（e c o検定）試験（年2回）の施行
- (3) その他、商工技術振興に関する事業

**10. 特定商工業者制度に関する事業**

- (1) 平成24年度特定商工業者負担金（一律 1,000円）の賦課
- (2) 特定商工業者法定台帳整備および管理、運営等に関する事業

**11. 中小企業相談所に関する事業**

- (1) 経営改善普及事業
- (イ) 小規模企業振興委員制度

- の活用
- (ロ) 小規模事業者経営改善資金審査会の開催（毎月1回）
- (ハ) 金融、税務・経理、経営の合理化に関する相談・指導および斡旋
- (ニ) 労務および社会保険に関する相談および指導
- (ホ) 小規模企業共済（事業主の退職金制度）、経営セーフティ共済加入促進
- (2) 経営基盤強化支援事業
- (イ) 金融機関との連携による各種融資の周知および斡旋
- (ロ) 小規模事業者のための講習会、研修会、座談会等の開催
- (ハ) 税務・記帳等の相談および指導を千葉県税理士会館山支部と協力して実施
- (ニ) 小規模事業者のための専門家による相談および指導（法律・税務・経営・商工・金融）
- (3) 創業・経営革新支援事業
- (イ) 新連携支援に対応すべく異業種交流の推進
- (ロ) 経営革新計画承認を目指す事業者への支援
- (ハ) 創業者・経営革新企業向け融資制度の周知および指導
- (ニ) 創業・経営革新・新連携事業に対する税制の周知および指導



3月25日(日)に、館山市が平成19年から5か年事業で整備してきた館山港交流拠点「渚の駅」たてやま」がグランドオープンした。  
市の推進する「海辺のまちづくり」の核となるこの施設は、「館山夕日栈橋」と一体となり、南房総地域の観光ネットワークを構築し、広域観光サービス拠点としても期待される。さらに、陸と海との結節点として地域のあらたな可能性を導き出すものと



大きな期待が抱かれている。オープニングセレモニーは、午前10時から市関係者や多数の来賓約130人が出席し、「渚の駅」たてやま」の大きな特徴となっている展望デッキで開催された。  
午前11時から一般公開となり、春休みの日曜日ということもあり展望デッキや約70種類の魚貝類を集めた館山湾の海を再現した「磯場の水槽」では、親子連れの観光客や市民等が多数訪れ終日賑わっ



また、博物館内に地域の物産や自然・歴史・文化などの書籍を取扱うミュージアムショップ(KIRA・たて山：代表取締役 宮澤治海)が同時オープンした。こちらも多くの方から大変好評で、当所としても城山みやげ処(里見茶屋)とあわせ、地場産品・地域情報発信等の観光事業推進拠点として大いに期待している。

食事・売店・お土産 館山城・城山公園

# 里見茶屋

館山市館山236 TEL24-7211  
営業時間 9:00~17:00  
<http://satomichaya.awa.jp/>

本・教科書・文具・ファンシー

# MIYAZAWA

TEL 0470-23-7771  
●営業時間 9:00AM~8:00PM  
(年中無休)

天保年間創業・通産大臣賞受賞・全国伝統的工芸品  
千葉県指定伝統的工芸品(小糸の煙火)

# (有)福山花火工場

代表取締役 福山 一郎  
千葉県君津市外箕輪 4丁目10番20号  
☎0439 (55) 7033

宝石・メガネ一筋、  
地域の皆様と共に。

**宝石・メガネ コバヤシ**

館山本店 22-8881	館山銀座店 23-5511	イオンタウン店 24-2010
-----------------	------------------	--------------------

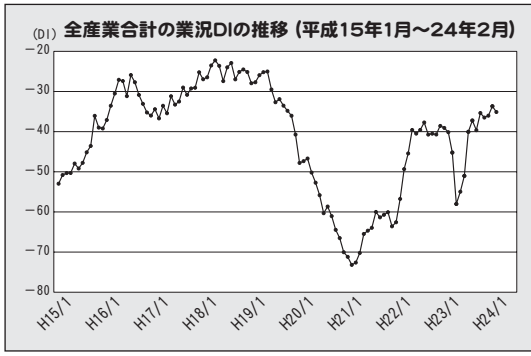
LOBO  
2月結果

業況は低迷  
海外調達の加速で受注減

商工会議所LOBO（早期景気観測）調査の平成24年2月結果では、全産業合計の業況DIがマイナス33.4と、前月から1.5ポイント悪化した。昨年10月以降、マイナス35前後の足踏み状態に陥っている。

産業別では、海外経済の減速や超円高に伴う輸出の低迷に加え、取引先の海外調達の加速により受注が減少している製造業の業況が、2カ月連続で悪化。

「取引先からの単価の値下げ要請が強くなっている」（計



量・測定器製造業)、「主要な取引先が生産拠点を海外に移し、部品を現地調達に切り替えたため、売上が大幅に減少(液晶用バックライト製造業)といった声が挙がっている。また、卸売業と小売業は、寒波や大雪が売上に影響するなど、業況が悪化。「野菜の出荷量が減少し、仕入価格が上昇しているが、価格転嫁は困難(食品卸売業)」、「厳しい寒さの影響で春物衣料の動きが鈍い(商店街)など、厳しい状況を訴える声が目立った。

一方、建設業は、住宅エコポイント制度の再開に伴い、リフォーム工事などの受注が一部で増えているが、資材や人件費の高騰などにより、業況は前月からほぼ横ばいで推移。「復旧・復興工事の増加に伴い、型枠の職人や重機オペレーターが不足している」(一般工事業)などのコメントが寄せられている。

項目別にみると「仕入単価」は前月から改善、「資金繰り」「従業員」はほぼ横ばいとなったが、「売上」「採算」は悪化した。



向こう3カ月(3～5月)の先行き見通しについては、全産業合計の業況DI(2月比ベース)がマイナス28.2と、改善する見込み。海外経済の回復や超円高の是正に加え、年度末・新年度に売上の増加を期待する声が聞かれた。また、第三次補正予算の執行による復興需要の効果は徐々に広がってきている。

しかし、その一方で原油価格の高騰に伴う原材料価格の上昇などを懸念する声も目立っており、先行きは不透明な状態となっている。

各業種から寄せられた特徴的なコメントは以下のとおり。

【製造業】  
「円高の影響で、中近東向けの輸出品(生地)が落ち込んでいる」(織物製造業)、「取引先の海外生産の加速に対応するため、自社も海外工場の生産能力を増強する計画(自動車部品製造業)」

【卸売業】  
「今年に入り鋼材の在庫が増加、流通価格が下落している」(鋼材卸売業)、「建築資材の需要が拡大しているが、確保が難しい状況が続いている」(建築材卸売業)

【小売業】  
「イラン問題が原油価格の高騰に繋がれることを懸念」(燃料小売店)、「仕入先の海外調達が多くなっているため、商品の欠品期間の長期化、入荷遅れなど、販売に支障が出ている」(スポーツ用品店)

【サービス業】  
「大雪の影響で客足が落ち込んでおり、今後の資金繰りを懸念」(飲食店)、「地元の輸出関連企業の不振によりビジネス客が減少。客室の稼働率が悪化している」(旅館)、「土木・建設業の現場作業員と競合することから人材確保が当面の課題」(警備業)

【建設業】  
「豪雪により、土木工事現場での除雪費用の負担が増大」(一般工事業)、「住宅エコポ

物流コストを見直しませんか!?

房総の物流プランナー&パートナー

AWA Express  
安房運輸株式会社

電話:本社 0470-22-0165  
館山 0470-27-6151

- ・路線、地域内宅配
- ・引越、貸切、積合わせ
- ・コース配送、他

菓酪総房  
花菜っ娘

ひと足先に  
ふるさとのたより。  
ご贈答、おみやげに  
味の逸品。

房洋堂  
全国銘菓組合加盟店

千葉・市原・木更津・君津・富津・館山・鴨川

TEL0470(23)5111  
http://www.boyodo.co.jp/



## 経済底流を読み解く◆◆◆ 日本経済の復活を目指して 今こそ底力を発揮する時

昨年は、わが国にとって大変厳しい年だった。3月には未曾有の“大震災”に見舞われ、その後タイで発生した大洪水では、現地に進出していた多くの日本企業が被害を受けた。さらに、金融市場では史上最高レベルまで円高が進み、輸出企業などが大きな痛手を負った。

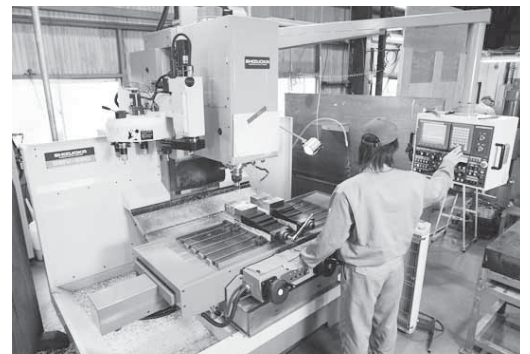
ただ、そうした厳しい条件にもかかわらず、わが国は決して強さを失ってはいない。被災地の人々は復興に向けて歩み始め、企業も収益の改

善を目指して一層努力している。今年は、みんなが元気を出して日本経済の復活を目指すべき年なのである。

このところ、確かに家電製品やIT関連分野などでは、ライバルである韓国や台湾の企業が台頭した。しかし、ここに使われている部品や部材などでは、わが国企業が優位性を維持している分野もある。その多くは、組み立て型から、技術集約性の高い部品などの供給にビジネスモデルを切り替えて、しっかり生き残っている。それを過小評価すべきではない。

そして、もう一つ忘れてはならない点は、わが国経済を支える“現場力”だ。震災に見舞われても、多くの人が力を合わせて復旧に努めた。その結果、わが国経済は予想以上の復興スピードを示すことができた。その“現場力”は、多くの海外メディアから称賛されている。

今年も、その力をもっと有効に使うべきだ。ユーロ圏の信用不安問題など、外部の不



透明要因はあるものの、われわれ日本人が自信を取り戻し、今までの“縮み”思考から脱却することができれば、わが国経済の復興への道は開けるはずだ。

わが国を取り巻く経済環境は、国内要因だけを考えるとかなり厳しい。しかし、海外に目を転じると世界経済の中心がアジアの新興国に移行しつつある。中国やインド、インドネシアなどは、今後も高成長を続けるだろう。そうした需要拡大を取り込むために、わが国企業は相応の体力を付けることが必要になる。そしてそれには、われわれ一人一人の意欲が大切だ。

戦後、わが国は敗戦の焼け野原から、20世紀の奇跡と言われるほどの復興を果たし

た。その後、大規模なバブルが発生し、90年代にそれが崩壊。ある時期、われわれは現実と正面から対峙することから逃げていたのかもしれない。

当時の政治は、多額の公共投資を行うことで雇用を維持し、いずれ景気が復調することをひたすら願った。通用しなくなった社会のシステムや経済構造を変革することを避けたのである。傷みを伴う改革を選択しなかった。そのつけが、“失われた20年”という形になった。

しかし、この20年で、わが国が本当に壊滅したわけではない。今まどうまくいかなかったからといって下を向く必要はない。今から、うまくできる方法を考え出せばよいのだ。そのためには、一人一人がしっかりと現実と対峙し、問題を克服することを真剣に考えなければならぬ。わが国に“ものづくり”の高い技術水準が残されている今ならできるとは思わない。

最近の海外からの留学生を見てみると、彼らの積極的なスタンスやハングリー精神に目を見張ることがある。われわれも原点に戻って、そうした姿勢になればよい。

### 法律・税務・商工相談

- 法 律 千葉県産業振興センター
- 税 務 葛西 博 先生
- 仲村 榮 先生
- 川名 敏昭 先生



ご相談のときは事前にご連絡下さい。

### 会議所窓口相談

商工相談  
金融相談

毎週水曜日

(電話相談随時  
お気軽にご連絡下さい)

日本政策金融公庫  
特別金融相談日

毎月第3金曜日

(事前にご連絡下さい)

お手続きは  
お済ですか？

## 原子力発電所の事故に伴う 観光業の風評被害に係る賠償請求 個別相談会のご案内

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、原子力発電所事故が発生し、それに伴う風評被害により当地域の観光業や観光関連産業は大きな影響を受けました。

そこで当所では、東京電力株式会社に依頼し、この度、**原子力発電所の事故に伴う「観光業の風評被害に係る賠償請求」個別相談会**を下記のとおり開催いたします。

個別相談会ですので、事前に申し込みを受け付け、定員になり次第締め切りとさせていただきます。  
(なお、申込多数の場合は、後日開催も予定しておりますので、ご相談ください)

### 記

- |        |  |                       |
|--------|--|-----------------------|
| ◆日 時   | 平成24年4月24日(火)10時～16時   | ※ご相談は、1事業所1時間以内といたします |
| ◆場 所   | 館山商工会議所 会議室  | ◆内 容 賠償請求金額の試算        |
| ◆相 談 員 | 東京電力株式会社担当スタッフ   |                       |
| ◆必要書類  | ①平成23年3月11日を含む事業年度前の事業年度分の決算書・申告書<br>②平成23年3月11日を含む事業年度分の決算書・申告書(売上等資料)<br>③事業所の内容がわかるパンフレット等  |                       |
| ◆申 込   | 事前に申し込みを受け付けます、館山商工会議所(TEL22-8330)へご連絡ください<br>※定員になり次第締め切りとさせていただきます<br><b>賠償請求に必要となる平成23年3月11日時点で、「損害の発生した事業所」の所在地において活動していたことを証明する書類として、会員確認書を無料で発行致します。</b> |                       |

## ちばレジエコメッセージの募集について

千葉県では、レジ袋の削減を通し、ごみを減らし、ものを大切にするライフスタイルへの変換を目指し、全県的なレジ袋削減の取組である「ちばレジ袋削減エコスタイル(通称:ちばレジエコ)」をすすめている。

そこで、この取組に対する県民の幅広い意見を募集するために、左記のとおり千葉県ホームページを利用した、ちばレジエコメッセージ(以下、「メッセージ」という)を開始した。メッセージを通じ、ちばレジエコをはじめとした3R(※)の全県的な普及拡大に向け、皆様のメッセージを是非お寄せください。

※3R(スリーアール)とは、環境と経済が両立した循環型社会を形成していくためのキーワードです。

① Reduce(リデュース) → 廃棄物の発生抑制 ② Reuse(リユース) → 再使用 ③ Recycle(リサイクル) → 再資源化

### メッセージとして期待している 主な内容

1. 個人や事業者等がレジ袋削減に関して実施している具体的な取組例
2. レジ袋削減に関して取組んでいる店舗情報及び当該店舗利用者の感想等
3. レジ袋削減に関して、県や事業者等に期待する新たな取組等
4. その他、ちばレジエコに関する意見及び感想等

### メッセージの 主な活用方法

1. 各主体との情報交換・交流の場の設定
2. 先進的な取組情報等をとりまとめたアイディア事例集の作成
3. レジ袋削減取組状況マップの作成

### メッセージの 投稿方法

千葉県ホームページ内のちばレジエコメッセージ投稿フォームに、必要事項を入力し、送信してください。(URL: <https://www.pref.chiba.lg.jp/forms/rejieco.html>)

### メッセージの 閲覧

ちば情報マップを利用し、メッセージの発信市町村及びメッセージ等を掲載します。(URL: <http://www.pref.chiba.lg.jp/shigen/3r/rejieco/message.html>)

なお、掲載するメッセージは、内容・量等により、一部を編集する場合があります。

小規模企業の  
経営者の  
みなさまへ

小規模企業  
共済制度

# 経営者ご自身の 「現役引退後の生活資金」のことを お考えですか？

こんな悩みにお応えします

「年金だけでは不十分で、不安がある」  
「自分で積み増しするには、どんな  
ものがあるの？」

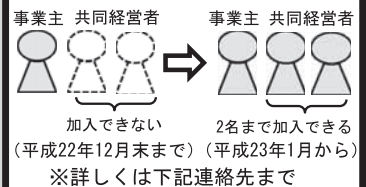


小規模企業共済は、「小規模企業経営者  
のための退職金制度」です。

平成23年1月1日より  
受付開始！

『事業主の「共同経営者」も  
加入の対象となります』  
共済加入対象者が、個人事業主の  
配偶者や後継者など「共同経営者」  
まで拡大されます  
(1事業主につき2人まで)

共同経営者の加入イメージ



加入し、掛金を毎月積み立てておけば…

将来、「廃業」「役員退任」等が生じたとき  
に共済金をお受け取りいただけます。



現役引退後の安心した  
生活設計が図れます。



●本制度の詳しい内容は、パンフレットを必ずご覧ください。

加入のお申込は

館山商工会議所

〒294-0047 千葉県館山市八幡821  
TEL:0470-22-8330 FAX:0470-23-4011

## ポイント

1. 加入に年齢制限はありません。60歳以上でもOK!
2. 常時使用する従業員の数が、20名以下(商業、サービス業5名以下)の個人事業主、又は会社の役員の方が対象です。
3. 毎月3万円の掛金(年間36万円)で、例えば、課税対象所得400万円の方ならば108,000円の節税になります。
4. 「小規模企業共済法」に基づき運営されています。

すでに本制度に加入されている方は…

▶現在の掛金月額が7万円に達してい  
ない方は、増額をお勧めいたします。

掛金月額1,000円～70,000円の範囲内で自由に  
設定できます。(500円きざみ)

※掛金月額増額申込書と増額される金額(現金)を添えて左記へお申し込みください。  
(掛金月額増額申込書がお手元に無い場合は、下記の共済相談室へご請求ください。)